



2011年

春号

松下賢一郎



NEW KOMEI TO  
公明党

議会リポート

発行責任者  
藤沢市議会議員  
松下賢一郎  
TEL 0466-34-4570  
matusita@tbb.t-com.ne.jp

## 2011年度藤沢市予算が決定しました

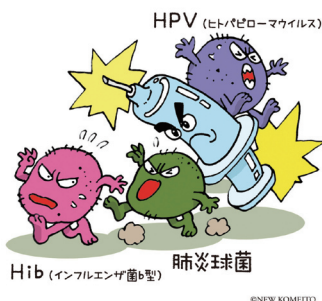
藤沢市議会2月定例会において2011年度予算が可決されました。予算総額は2.283億2,349万3千円となり、一般会計は前年度比で59億6,400万円(5%)増、特別会計で27億8,100万円(2.8%)増と全体では4%の増となっており、依然として厳しい社会経済情勢ではありますが、市内経済を下支えする意味からも積極的な予算編成となっています。

この予算編成にあたり、国の施策の方向転換により地方財政に大きな影響を及ぼすことになった「子ども手当」と「地方議員年金制度の廃止」に伴う予算措置について、「子ども手当」は全額国庫負担対応として計上しています。また、「地方議員年金制度の廃止」に伴う予算措置については、国では、地方議員年金制度を6月に廃止し地方自治体に財政負担を求める法改正を行う予定をしていますが、藤沢市予算では、6月の制度廃止以後の年金支給に係わる財源措置については予算計上しないこととしています。

一般会計(5.0%増)	1.246億6,100万円
特別会計(2.8%増)	1.036億6,249万円3千円
総額(4.0%増)	2.283億2,349万円3千円

## 松下賢一郎が推進してきた福祉施策について

### 「子宮頸がんワクチン」予防接種の公費助成



松下賢一郎は、「子宮頸がんワクチン」の予防接種について、女性の命を守る観点から、公費助成により早急に実施するべきと訴えてきました。これに対し、昨年12月議会で平成22年度補正予算を計上して平成23年3月から実施されました。

子宮頸がんワクチン接種については、中学1年生から高校1年生に相当する年齢の女性に対して3回の接種が必要なことから、3月中に接種した高校1年生は、平成23年度(高校2年生)においても公費助成の対象となります。尚、全国の多くの自治体で実施されたことからワクチン不足が発生していますが、高校1年生は、4月以降に1回目の接種をした場合も公費助成の対象となります。

### 高齢者肺炎球菌ワクチンの公費助成

高齢者の生命と健康を守る観点から、肺炎球菌による肺炎の予防と重篤化を防ぐために、75歳以上の市民を対象に、「肺炎球菌ワクチン」接種費用の公費助成が実施されます。助成内容は、接種費用の7割を公費助成として自己負担は2,400円になります。

なお、接種時期としては、インフルエンザワクチンの接種期間と併せて10月～1月となります。

### 中学生まで医療費助成を拡大

小児医療費助成制度は、少子化対策、子育て支援策として有効な施策であることから対象年齢の拡大を求めてきましたが、平成9年には1歳児までの無料化が実現し、その後も年齢拡大に取り組み、平成21年には小学6年生まで拡大がされました。

しかし、東京23区では、子育て支援の観点から、既に中学生まで医療費助成が実施されており、神奈川県内でも海老名市、厚木市が中学生まで拡大する方針が示されるなど、藤沢市においても、次世代を担う子どもの健康増進と子育てに係わる保護者の経済的負担の軽減を図るために、対象を中学生まで拡大するよう求めてきましたが、今年度システム改修に取り組み、平成24年度から中学生まで拡大する方針が示されました。



### 老人センターへの高齢者福祉バスを運行

高齢者の健康増進や、生きがいづくりを支援するために設置された老人福祉センター3館(こぶし荘・やすらぎ荘・なぎさ荘)それぞれに、公共交通機関が不便な地域へ無料で巡回する「福祉バス」を運行しました。

1日3便(午前・昼・午後)が運行されていますが、利用者の状況をみながら運行本数の拡大を求めています。

